L型羽子板金物　取扱説明書

※ご使用前に必ずお読みください。

建設省告示第1460号第2号
[に]対応
(公財)日本住宅・木材技術センター
Zマーク羽子板ボルト(SB・E2)同等認定品

L型羽子板金物

短期許容引張耐力(Ta)：7.50kN ※1※2

※1) 本製品は同等認定品のため、認定対象製品羽子板ボルト(SB・E2)と同じ耐力です。

※2) (公財)日本住宅・木材技術センター「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)」表 2.4.4.1 より引用。

用　途

■フラット丸座金とフラット角根ボルトを併用しての材の引き寄せ及び、六角ボルト(M12)を使用しての材の引き寄せに使用します。

特　長

■壁パネル等の外装材を仕上げた後でも建物内部よりナットの締付けが可能です。
■電動工具で双方のナットを締められるように、引合いボルト側の穴位置を、底部より40mmと高くしました。
■腰高タイプの羽子板ボルトと十字交差をさせることもできます。

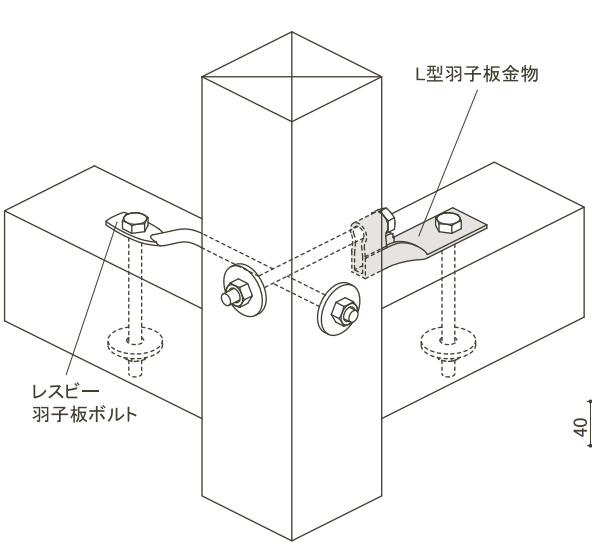
付属品

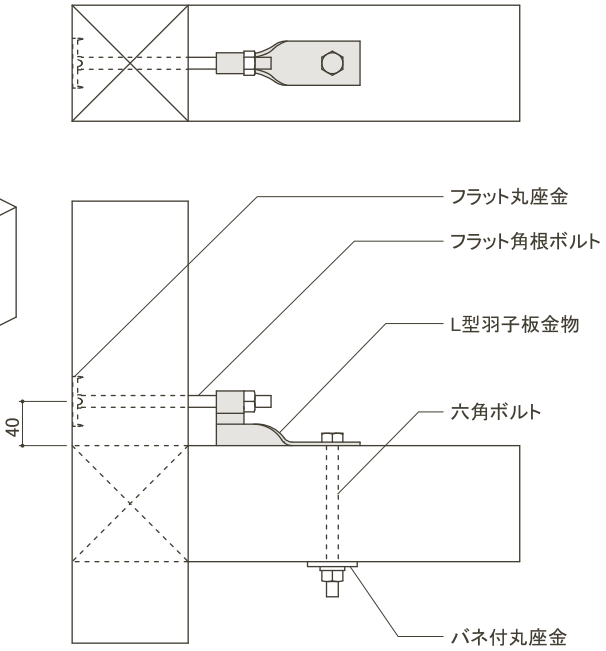
■なし

施工方法

①使用用途に応じた長さのフラット角根ボルト(別売品)にフラット丸座金(別売品)をセットしてボルト穴に通し、ナットで締付けます。

②胴差し相互の引合いとして使用する場合は六角ボルト(M12)をご使用ください。





注意事項

■ 一般的な腰高羽子板の材面より25mmのボルト穴では取り付きません。
■ フラット丸座金とフラット角根ボルト及び六角ボルト(M12)は、別売品です。
■ ケガに注意!!　手袋を着用するなど金物の切断面に注意して作業をしてください。
■ 釘およびビスを打ち込む際にも、軍手や手袋などをはめ、さらに保護メガネを装着し、怪我のないようにしてください。
■ 金物は所定の位置に取り付けてください。
■ 接合・締付け工具類は、適切なものをご使用ください。
■ 現場で防腐・防蟻処理他、薬剤を使用する場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。
■ 放り投げたりハンマーで叩く等、乱暴に取扱うと破損や変形する恐れがあります。
■ 目的用途以外には使用しないでください。

K20150828A

KANESHIN 株式会社カネシン

本　　社 / 〒124-0022 東京都葛飾区奥戸4-19-12
Tel. 03-3696-6781　Fax. 03-3696-6770

技術的なご相談は　カネシンCSセンター
Tel. 03-5671-1077